

**社団法人日本アレルギー学会 平成22年度事業計画書**  
(平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)

事業項目	事業概要
学術大会、講演会等の開催 (定款第4条第1号)	1. 学術講演会 1) 第22回春季臨床大会 会期: 5月8～9日 会場: 国立京都国際会館(京都) 参加者予定数: 3500名 一般演題予定数: 約300題 教育プログラム 2) 第60回秋季学術大会 会期: 11月25～27日 会場: 東京国際フォーラム(東京) 参加者予定数: 3800名 一般演題予定数: 約550題 第60回大会記念行事(学会主催)
学会誌その他の刊行物の発行 (定款第4条第2号)	和文誌「アレルギー」59巻3・4号～60巻2号 10冊刊行(3・4号、9・10号は合併号) 9, 3月を除く毎月30日発行(2月は末日) 約10,000部発行予定 学会Webにオンラインジャーナル掲載 英文誌「Allergy International」59巻2号～60巻1号 4回(6, 9, 12, 3月 各1日発行) 冊子体 希望者のみ配布 学会Web、J-stageにオンラインジャーナル掲載
専門医、指導医、教育施設等の認定 (定款第4条第3号)	1. 専門医等の認定 専門医、指導医、認定教育施設の資格認定に係る諸審査を実施。 専門医資格認定試験を実施(平成23年1月最終日曜日)、合格者を「アレルギー専門医」として認定する。指導医、認定教育施設の認定。 2. 専門医等の更新認定 資格更新を希望する専門医、指導医、認定教育施設の資格更新に係る諸審査を行い、合格者を更新認定。 3. 専門医の教育 1) 第37回セミナー 日時: 平成22年5月9日(予定) 場所: 国立京都国際会館(京都) 定員: 300名以内 2) 第38回セミナー 日時: 平成22年8月29日(予定) 会場: 総評会館(東京) 定員: 300名以内 3) 春季大会専門医教育研修コース 日時: 平成22年5月8～9日: 専門医のためのコース、専門医を目指す医師のためのコース(専門医制度認定プログラムには制度業績単位付与)。 会場: 国立京都国際会館(京都) 参加者予定数: 約2500名
研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第4条第4号)	日本アレルギー学会学術大会賞(第7回) 第20回アポットジャパンアレルギー学術奨励賞(本学会員対象) 等応募推進 日本医学会医学賞、研究助成、持田記念学術賞、上原賞等候補者の推薦検討
関連学術団体との連絡および協力 (定款第4条第5号)	(財)日本アレルギー協会との共催、後援活動 アレルギー週間の後援(平成23年2月中央講演会 共催) 日本薬学会、日本薬剤師会、日本栄養士会、日本看護協会等と春季臨床大会において、メディカルプログラム企画、実施。 日本専門医制評価・認定機構活動参加 社員総会、協議委員会等へ代表者派遣 内科系学会社会保険連合活動参加 呼吸器・小児科・検査関連各委員会委員派遣 日本医学会活動協力 日本学術会議活動協力 日本医師会、大学評価・学位授与機構、その他関連する団体との連携・協力
国際的な研究協力の推進 (定款第4条第6号)	1. 第60回秋季学術大会で国際シンポジウム開催 日時 平成22年11月25～27日(いずれかで開催) 会場 東京国際フォーラム JSAとWAO、APAAACI、AAAAI、ACAAIとの共同シンポジウムを企画 2. WAO(World Allergy Organization), APAAACI(Asia Pacific Association Allergy, Asthma and Clinical Immunology)との国際的活動への参加 3. GARD(Global Alliance of Respiratory Disease)というWHO傘下団体の国際的活動への参加 4. 日韓シンポジウム参加(韓国アレルギー学会にて開催) 5. GINA世界喘息デー 医師講演会(GINA日本組織委員会)への協力

社団法人日本アレルギー学会 平成22年度事業計画書  
(平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)

<p>一般への普及啓発活動 (定款第4条第7号)</p>	<p>1. 春季臨床大会において一般市民向け企画 ①企業との連携による「テーマ館」設置:学会テーマに関連し公益性の高い情報提供を行う 日時:平成22年5月8～9日 会場:国立京都国際会館 ②市民公開講座 日時:平成22年5月9日 会場:国立京都国際会館 仮題「皮膚を考える」</p> <p>2. 秋季学術大会において市民公開講座開催 日時:平成22年11月27日(土) 午後 会場:東京国際フォーラム</p> <p>3. 学会Web site 一般向け情報の提供</p>
<p>理事会、総会、委員会等</p>	<p>理事会 3回(5、8、11月 予定) 社員総会 2回(5、11月 予定) 総務委員会:平成21年度事業報告書、平成22年度事業計画書案策定 財務委員会:平成21年度決算、平成22年度予算の執行、平成23年度予算案策定 長期展望に立った財務計画、特別会計経理の整備、新公益法人会計に立脚した予算立案 長期計画委員会:長期展望に立った学会活動の課題検討 広報委員会:新会員登録・管理システムの管理、Web、啓発活動の推進 定款・細則検討委員会:新定款・細則の検討 推薦委員会:名誉会員、功労会員の推薦、学会推薦の外部学術賞候補者等の検討 倫理委員会:倫理綱領の遵守指導。社会、学会内で生じる倫理的問題、課題への対応 学術大会委員会:第60回秋季大会、第23回春季大会プログラム等の企画検討、及び関連する諸問題の検討 アレルギー疾患ガイドライン委員会:アレルギー疾患診断・治療ガイドライン2010の発刊 研究推進委員会:アレルギーと免疫療法専門部会活動 学術賞選考委員会:平成22年度第7回学術大会賞(5名以内)の選考 アレルギー編集委員会:和文誌「アレルギー」発刊。投稿原稿審査、編集委員会企画の立案および実施 AI編集委員会:英文誌「Allergology International」発刊。オンライン投稿・査読システムにより効率化、迅速化が図られ、国際的評価であるIFを取得して国際誌への進展を目指す。 出版物刊行委員会:日本医学会医学会用語辞典改定に関わる協力事業 専門医制度委員会:専門医の認定および更新認定。専門医養成および専門医教育のための研修実施 国際交流委員会:World Allergy Organization(WAO)、Asia Pacific Association Allergy, Asthma and Clinical Immunology(APAAACI)との連携、協力事業。その他関連する国際団体との活動。 医療問題検討委員会:「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」への協力、その他 医療問題、医療保険問題等関連事項の検討 診療報酬検討専門部会:平成22年4月診療報酬改定の分析と次期改訂に向けての検討 アレルギー疾患医療安全委員会:会員の医療事故等医療安全に関し、第三者機関として迅速かつ円満な解決を図るための支援活動</p>
<p>その他</p>	<p>新公益法人移行に関する業務 エビネフリン自己注射取り扱い医師講習会支援(学術大会等で医師講習会協力予定)</p>